

# 肱川

発行 肱川村役場  
1959・2・20  
編集 肱川村教育委員会

## 臨時村議会を開く

二月三日臨時村議会を開いて次の議案を議決した。  
一、農林漁業資金借入に対する損失補償について  
二、県営工事費の立替について  
三、村議会議員定数条例設定について  
（定数十八名とする）  
四、肱川村選挙管理委員及補充員の選挙について

## 肱川流域 観光協議会 発足

鹿野川ダム完成に伴い肱川流域の観光開発促進を図るため、大洲市、長浜町、肱川村で協議会の設立を見ることとなり、一月三十日龍雲館において理事者を始め関係者五十名参加、盛会のうちに肱川流域観光協議会が生れた。  
会長 沼田大洲市長 副会長 末永長浜町長 池田肱川村長  
理事その他を引継ぎ観光事業について協議懇談した。

## 本月の出来ごと

一月 午前中教育委員会開く  
午後観光に関する懇談会を開く  
二日 大洲高校肱川分校において川上区農業改良普及事務所主催新生活学級の開講式を挙行 戒田副知事臨席  
三日 久松知事候補、会議室において個人演説会を開く  
四日 成人式挙行 該当者一〇〇名のうち八十余名出席  
五日 昨夜の積雪六〇センチに及びバス各線共不通  
六日 雪のため延期中の村常会を開く 午後村議会議員定数変更について有識者の意見を聞く  
七日 鹿野川ダム完成に伴う漕艇コースについて県教委、漕艇連盟よりも出席懇談会を開く  
八日 かんがい水路の測量及開拓地検査のため八幡浜耕地事務所より係官来村  
九日 大谷小・中学校視察  
十日 愛媛県知事選挙 午前一時鹿野川、川上石油裏崩壊によつて消防団出動  
十一日 おやぶ龍雲館において肱川流域（大洲、長浜、肱川）観光協議会を設立  
十二日 海外移住希望者懇談会を開く 母子福祉会役員会を開く  
十三日 雪のため延期中の村常会を開く 午後村議会議員定数変更について有識者の意見を聞く  
十四日 鹿野川ダム完成に伴う漕艇コースについて県教委、漕艇連盟よりも出席懇談会を開く  
十五日 かんがい水路の測量及開拓地検査のため八幡浜耕地事務所より係官来村  
十六日 大谷小・中学校視察  
十七日 愛媛県知事選挙 午前一時鹿野川、川上石油裏崩壊によつて消防団出動  
十八日 おやぶ龍雲館において肱川流域（大洲、長浜、肱川）観光協議会を設立  
十九日 海外移住希望者懇談会を開く 母子福祉会役員会を開く

## 愛媛県知事選挙の結果

肱川村選挙管理委員会は二月十日開催、委員長に谷本恒雄、代理 渡辺時徳を選任した。

### 選挙管理 委員会を開く

委員 谷本恒雄  
和氣鶴吉  
渡辺時徳  
野尻綱清  
補充員 尾下林太郎  
和氣千秋  
西谷義明  
寺尾義孝

### 家族計画相談日 並に妊婦の診察について

一日 鹿野川和氣助産婦宅  
五日 小ヤブ集会所  
一日 大谷公民館  
二日 中津小学校  
三日 中居谷公民館  
四日 稚蚕飼育所  
五日 岩谷小学校  
六日 宇和川事務所  
七日 正山小学校

### 投票の状況

投票区	有権者	投票者	棄権者	投票率
第一(鹿野川)	一、一七七	九五〇	二二七	八〇・七一
第二(岩谷)	四七七	三三〇	一四七	六九・一八
第三(宇和川)	七六四	五三四	二三〇	六九・九〇
第四(大谷)	六八〇	五三三	一四七	八二・七九
第五(中津)	一五四	一三五	一九一	八七・六六
第六(予子林)	四九三	四一一	八二	八三・三七
第七(中居谷)	二一五	一八六	二九	八六・五一
計	三、九六〇	三、一〇九	八五一	七八・五一

### 開票の結果

投票数 三、一〇九票  
有効投票数 三、一〇一票  
無効投票票 八票  
久松定武 二、一八八票  
松橋八次郎 九一三票

## 家庭菜園の作り方

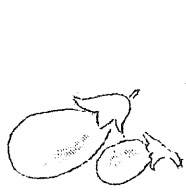
そ菜は、人間の栄養のうち、もっとも大切な五つのものをもち

三日 臨時村議会を開く  
四日 大地開墾地 地すべり調査のため県農地拓殖課より出張  
五日 県土木部長 江戸技師 大地地すべり及大谷橋等調査のため来村  
六日 中敷水電話架設工事着工 消防団分団長会及後援会長連絡会を開く  
七日 選挙管理委員会を開く

## 家庭菜園の面積と蔬菜の種類(一人当り)

種類	面積㎡	株数	収量k	種類	面積	株数	収量
なす	3.3	6	9.00	大根	9.9	70	33.75
トマト	1.7	5	3.75	かぶ	1.7	10	3.75
胡瓜	1.7	4	4.50	結球白菜	3.3	8	8.63
南瓜	3.3	2	6.75	つけな	1.7	18	3.75
里いも	5.0	12	9.00	ホーレン草	3.3	—	4.50
ごぼう	3.3	36	5.63	カンラン	1.7	4	4.50
人参	3.3	45	4.88	ネギ	3.3	50	6.75
菜豆	1.7	5	1.50	玉ネギ	3.3	54	9.38
蚕豆	3.3	10	3.00	エン豆	3.3	12	2.63
その他	8.3	—	11.25	合計	66.4	—	136.50

つており、元気に暮すために欠くことができません。この大切なそ菜が、都会では自由に手に入るのに、作る農村ではかえつて不自由なのはおかしいことです。計画的に菜園を作ることは大切なことです。そ菜の種類は、一四〇くらいあり、その中で、売られておるのは五〇位ですが、更にこの中で栄養上特に必要なものをあげると



それでは一体どのくらいの野菜が必要でしょうか、大体一人一日に三・七五瓦(一〇〇匁)年間三三六匁(一三六・五瓦)にすることが必要です。これを作るに必要な面積は、約一〇坪で〇・六アールの作付をすればよいこととなります。一人当り作付計画は次の通りです。(別表)  
この表による栽培法については次号でお知らせします。

# 冬の栄養失調を解消

サイロの設置すむ  
乳牛をワラで飼うのなら、乳牛を飼うのはやめよ。と言われている。乳質のわるいのも、たねのつきにくいのも、乳量の少ないのも、牛の寿命の短いのも、もとはこらにあるようです。

乳牛はもちろん和牛も、豚も種羊も、ニワトリまで、質のよいエサを安くやる。ということに力をこめて、振興を考へるのにはコソケイである。畜産は実に自給飼料(飼料作物優良牧草)との関係で、その堆肥との関係で、畑や田と結びつき、経営をよくしつゝ、自分も発展するのです。このことが真剣に考へられた結果、飼料作物、牧野造成など本年度は一段と実施されましたが、更に冬場の貯蔵庫であるサイロを是が非でも作らうと言う話があつて、先ず三月末までに三〇基完成で、とりあえず二二基が着工した。これには、県から三分一、村から三分一の補助を交付するが、これについで、全酪農家がサイロを設置することが望まれておる。

このサイロは五尺と十尺の大きさで、一、〇〇〇の飼料が入り、これで冬の飼料は一応改善される。

## 農事メモ

★ 麦の肥え  
麦は、三月上旬頃迄に有効分けつを終るころそれまでに充分な肥と手入が必要です。

- 1 分けつのために窒素を四〇〇から一六〇〇を二月中頃にやる。
- 2 中耕 はやめに
- 3 土入 三月中旬以後から始め、乾いた土をくきたけのノ一ノ
- 4 麦ふみ 分けつの少いときは、麦ふみをやる。

### 越冬昆虫の駆除について

越冬する害虫の成虫、サナギ、幼虫を駆除することは来るべきこれら害虫の最成期に備えて、最大の効果が得られるものでありますので、各地区において協力して次のことを参考に駆除強化をお願いいたします。

期間 二月一日より三月末まで

A 成虫を対象とするもの  
D D T、デルドリンまたは、これらと他の合剤など残留効果の長いものを屋内の天井側壁床下や、便所、納屋、物置などカとハエの成虫が潜り、または活動するような場所にて規定量を撒布すること。また折鶴や、テーパーボン等による薬剤浸漬法を併用すればよい。これらの場合の使用薬剤は油剤を原則とするが種類によつては濃厚な乳剤を使用することも出来る。

B 幼虫を対象とするもの  
便つばの肥料だめ、ごみ捨場、堆肥舎、下水、墓地花立、やぶ等のカとハエの幼虫の越冬が認められる場所に対しては、即効性のオルソ剤または乳剤の規定量を撒布し、ウジ

C サナギを対象とするもの  
カのさなぎ(オニボフ)はボフに準じて差支えないが、ハエのサナギに対してはD D T又はリンデンの粉剤をもつて羽化するときの弱い成虫に触れさせよう撒布すること。なおサナギ自体には余り薬効を期待出来ないが、火炎照射によつては有効であると思われる。

物理的対策について  
冬季の間に便所畜舎の密閉、堆肥舎の改善、ごみ箱の補修整備、簡易ごみ焼炉の設置、溝下水の塗りこみ、竹のカブ割り、墓地花立の砂入れなど根本的な施設改善も重要なことであるので、これに力を入れること。なお次の越冬昆虫の生態を参照のこと。

### 越冬昆虫の生態

オオイエバエは、成虫のまま、冬眠状態になつて越冬し翌年の春産卵するが既に受精しているメスが生きのこつて便所のすみなどにじつとして居る。ニクバエの成虫はおそくまで生きて居るが、やがて死に、ウジは十月頃までにサナギになつて土中

でそのまゝ越冬し、翌年春ごろ親虫となる。  
アカイエカの受精したメスは、そのまゝ冬眠に入り、家のすみや家畜小屋積わら野外の暖いアノの中などで冬を越す。同様に他のイエカの類や、シナハマダラカもメスが越冬する。ヤブとか、森の中で多くみられるヒトスジシマカは卵の形で冬を越し春が来ると發育して親になる。オオクロヤブカ、トウゴウヤブカ、ヤマトヤブカ、の類は幼虫の形で冬を越し春先に成虫になる。

### 森林組合便り

総代会開催  
森林組合に於ては一月二十三日第八回通常総会に代る第一回の総代会を開催 昭和三十

三年度業務報告を承認 昭和三十四年度事業計画を決定した。事業の重点は組合員に対する直接奉仕を旨とし教育指導・種苗生産・受託生産販売・間伐・主伐等の施業、受託事業を積極的に進めることになつて居る。尚当日は総代四名の他来賓として林業課長、農協組合長等の臨席を得て極めて盛会であつた。

森林組合振興大会に於て受彰  
一月二十四日松山市伊予銀行ホールに於て愛媛県森林組合振興大会開催約七〇〇名の組合員が出席、森林組合の振興対策について宣言、陳情決議等を行い盛会であつた。

席上本組合は模範組合として大会長より感謝状を授与された。

### 村の人口動態

出生 三四・一・三一  
山鳥坂：和氣 菊美・龜岡 正幸  
魚田真実子・大本フユミ  
水本恵美香・富永まゆみ  
橋本 広志・和氣 福芳  
今岡 弘・久保 栄二  
宇和川：森田美千子・宇都宮正知子  
大塚 春香  
予子林：横田 勝・藤本 早苗  
大谷：山路 研貴・宮武 和代  
名荷谷：中宮 淑恵・上田 四郎  
中津：大野 泉  
山鳥坂：大本フユミ・岩沢 イカ  
高橋 武敏(知事報告)  
藤高 一( )  
予子林：山下 昌訓( )  
大谷：富永ナルコ  
宇和川：坂本音五郎  
中居谷：石戸 政勝  
中津：篠崎 コメ

長さ	径寸	すき	ののき	まつ	その他
13尺2寸	15下	38円164銭	38円64銭	円	円
	20上	34.50"			
	35上	37.00"	37.00"	まつは14尺	
	50上	30.22"	34.50"		くり19.20"
	60上	31.50"	38.64"	23.19"	もみ20.50"
10尺	尺上	36.00"		26.34"	
	25下	28.92"	28.92"		
	35上	30.00"	32.00"		
6.6尺	60上	30.20"	34.11"	21.50"	
	25下	16.50"	16.50"	バツ材35下	くり11.00"
7	30上	15.00"	15.00"	17.60"	もみ16.00"
	尺	60上	25.00"	29.50"	27.00"
3	尺	35上	12.70"	12.50"	
	20	尺	50上	36.00"	39.93"

市況 小丸太は前回(1月20日)に増して高値を呼んだ。次回(2月20日)も保合の見込 市日は毎月 5日 20日

世帯数	計	女	男	人
一・四四一	七・七九七	三・七五六	四・〇四一	